



(参考仮訳)

プレスリリース No. 09/143

即時解禁

2009年4月24日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

NAB 参加国と潜在的な新規参加国、IMF への信用枠の拡大と改革を議論

26 の新規借入取極 (NAB) 参加国は本日、NAB 参加国でない他の IMF 加盟国の代表と会合した。

彼らは、G20 首脳によるロンドン・サミットにおいて要請された、NAB の参加国拡大、最大 5,000 億ドルの増額、及び、柔軟化について、どのようにフォローアップするかを議論した。本日の NAB 会合の議長である中尾武彦氏は、「この目標に向けた大きな進展があり、また、拡大され、柔軟化した NAB について合意に達することを目的として作業を継続することに合意した」と述べた。NAB は、必要があれば IMF の貸付について参加者が補完的な資金を提供することを約束する信用供与枠組みである。

「我々、NAB 参加国とその他の国々の代表は、大変建設的な会合を開催した」と、日本の財務省国際局次長の中尾氏は述べた。「NAB の拡大と最大 5,000 億ドルの増額を目標とすることについて広範な合意があった。多くの NAB 参加国が信用供与の規模を増額することにコミットする姿勢を示し、また、他のいくつかの NAB 参加国が増額に対して好意的な検討を行う意図を示した。加えて、現在 NAB に参加していないいくつかの G20 諸国は、この取組みへの参加を検討する意欲を示した。IMF がクォータを基本とする機関であること、次回のクォータ見直しを加速させて 2011 年 1 月までに完了させるべきことが強調された。拡大された NAB はクォータ増資に代わるものではないとの強い意見があった」と述べた。

「我々は、NAB の柔軟化を行う必要性と NAB 参加国の利益を守る必要性のバランスをとるためには、NAB 取極をどのように修正することができるかについて、暫定的な意見交換を行った。我々は、NAB 参加国と潜在的な参加国とで、この作業を迅速に進める予定であり、近いうちにワシントンにおいて更なる議論を行う。その場では、NAB の拡大についてロンドン・サミットで合意された目標と整合的に我々が確

かなコミットメントを行うことができることを望む。また、6月末までに合意を終結できることを期待している」と、中尾氏は述べた。

背景説明

NAB は、国際通貨システムの毀損を予防し、これに対処するため、あるいは、国際通貨システムの安定性を脅かすような例外的状況に対処するために必要な際に、IMF に対して 340 億 SDR（約 500 億米ドル）まで補完的な資金を提供するための、IMF と加盟国・機関との間の信用供与枠組みである。

世界経済が直面している前例のないショックは、IMF の資金支援に対する需要を急激に増加させている。IMF が今後も需要に応じるだけの十分な資金を有することを確保するため、G20 諸国は、2009 年 4 月 2 日、IMF の利用可能資金を、危機前の水準である約 2,500 億米ドルから 3 倍に増強することを支持した。

G20 の首脳は、2,500 億米ドルの加盟国からの緊急の資金提供が、最大 5,000 億米ドル増強され、拡大されたより柔軟な NAB にその後組み込まれることに合意している。

別紙参照

NAB 会合

2009 年 4 月 24 日

NAB 参加国

オーストラリア、オーストリア、チリ、ベルギー、カナダ、デンマーク、ドイツ、フィンランド、フランス、香港特別行政府、イタリア、日本、韓国、クウェート、ルクセンブルグ、マレーシア、オランダ、ノルウェー、サウジアラビア、シンガポール、スペイン、スウェーデン、スイス、タイ、英国、米国

NAB 参加国でない他の国々

アルゼンチン、ブラジル、中国、インド、メキシコ、ロシア、南アフリカ
トルコ